



令和3年度決算状況をお知らせします

皆さんに納めていただいた市税などが、どのように使われたか、市の財政がどのような状況であるかについてお知らせします。

問 財政課

一般会計

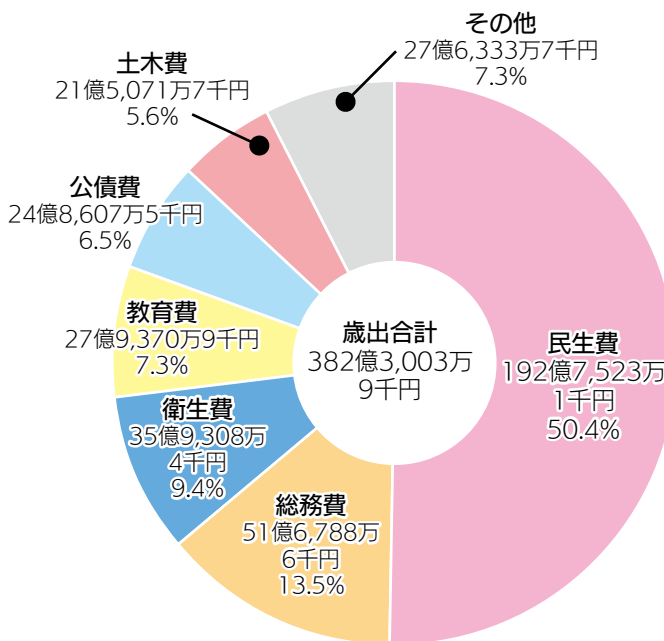
歳出

382億3,003万9千円

歳出全体としては、前年度比65億9,728万4千円(14.7%)の減少となりました。昨年度実施された特別定額給付金支給事業の減が主な要因です。

知っておきたい! 財政用語

- 民生費
子どもや高齢者、障がい者など福祉の費用
- 総務費
行政の運営や戸籍、税金徴収などの費用
- 衛生費
健康診断や予防接種、ごみ処理などの費用
- 教育費
教育や文化、スポーツなどの費用
- 公債費
市の借金の返済などの費用
- 土木費
道路や公園などの補修や建設などの費用
- その他
議会や農・商工業、消防、災害復旧などの費用



基金

市全体の貯金は3年連続増加

基金は、自治体の貯金のことで

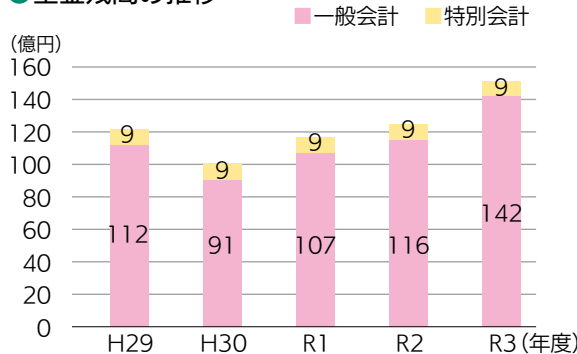
令和3年度は、財政調整基金や公共施設等整備基金などに積み立てを行ったことや、基金の取り崩しを抑えたことにより、基金の残高が約26億円増加しました。

今後も、計画的な積み立て・取り崩しに努めていきます。

令和3年度末残高

一般会計 141億9,089万円
特別会計 8億9,649万9千円

基金残高の推移



一般会計

歳入

400億8,023万9千円

歳入全体としては、前年度比57億8,184万3千円(12.6%)の減少となりました。特別定額給付金支給事業に関する国庫支出金の減が主な要因です。

知っておきたい! 財政用語

自主財源

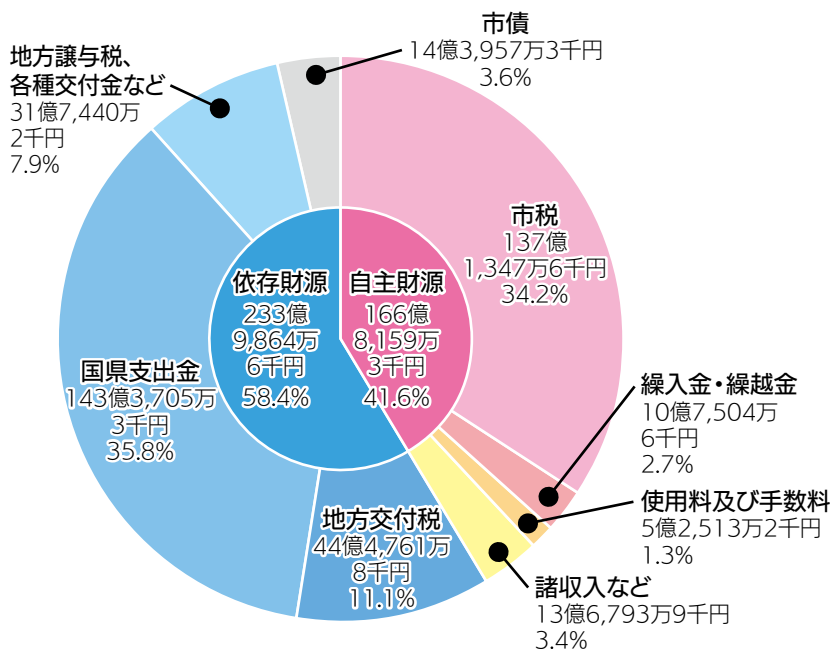
市が自主的に調達できるお金

- 市税 市民税や固定資産税など
- 繰入金・繰越金 基金からの繰入金や前年度からの繰越金など
- 使用料及び手数料 市営住宅の家賃や公共施設の使用料など
- 諸収入など 発掘調査受託事業収入や各種教室の受講料など

依存財源

国や県からの交付金や銀行からの借入金

- 地方交付税 全国どこでも必要最小限の行政サービスが受けられるよう国が交付するお金
- 国庫支出金 特定の事業のために国や県が交付するお金
- 地方譲与税、各種交付金など 国や県が徴収した税金の一部を市に分配するお金
- 市債 大きな事業を行うための銀行などからの借入金



地方債

市全体の借金は約18億円減少

地方債は、自治体の借金のことです。

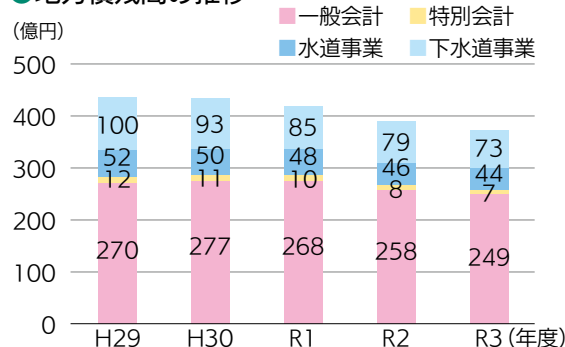
令和3年度は、前年度に引き続き、計画的な借入を行ったことにより、市全体の地方債の残高が約18億円減少しました。

今後も計画的な借入・償還に努めていきます。

令和3年度末残高

一般会計	248億6,329万6千円
特別会計	7億296万9千円
水道事業	43億9,876万8千円
下水道事業	73億2,500万1千円

地方債残高の推移



指標から見る筑紫野市の状況

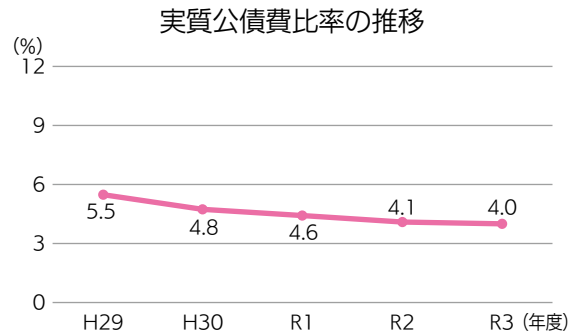
健全化判断比率・資金不足比率

自治体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断する指標です。

本市の比率は国の定める基準を大幅に下回っており、前年度に引き続き健全であるという結果となっています。

令和3年度の実質公債費比率は、市債の計画的な償還を行ったことで、前年度より0.1ポイント改善しました。

令和3年度は **4.0%** (前年度4.1%)



※実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、資金不足比率は、いずれも比率が生じておらず、健全な状態です。

財政力指数

地方税など自治体の標準的な収入で合理的に行政運営を行った場合にどこまで必要経費が賄えるかを測定する指標です。この指標は「1」に近く「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

令和3年度は、前年度より0.015ポイント減少しました。

令和3年度は **0.779** (前年度0.794)

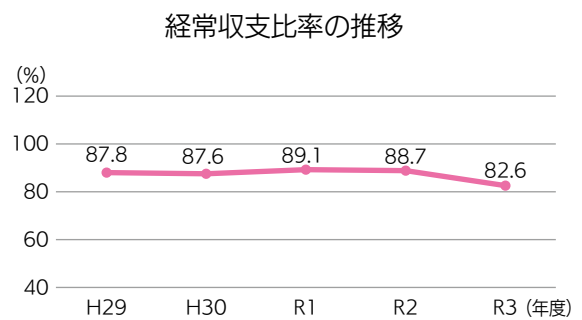


経常収支比率

毎年決まって入ってくるお金(地方税、地方消費税交付金など)が、毎年決まって出ていくお金(人件費、借金の返済など)に、どの程度充てられているかを示す指標です。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

令和3年度は、地方交付税(普通交付税)、地方消費税交付金の増などにより前年度より6.1ポイント改善しました。

令和3年度は **82.6%** (前年度88.7%)



特別会計・公営企業会計の決算収支の状況

主な特別会計決算収支

国民健康保険などの事業は、保険料など特定の収入によって行うため、一般会計とは別に会計を設けています。

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	98億5,604万2千円	98億3,135万9千円
住宅新築資金等貸付事業	2,198万5千円	316万1千円
奨学資金貸与事業	867万円	513万8千円
介護保険事業	70億6,537万5千円	68億9,235万6千円
後期高齢者医療事業	25億4,737万7千円	25億278万2千円
筑紫地区介護認定審査会事業	6,178万8千円	6,178万8千円
農業集落排水事業	2億1,388万4千円	2億1,388万4千円

公営企業会計決算収支

地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計による独立採算制をとっています。

(消費税等込み)

会計名	収入決算額	支出決算額	
水道事業	収益的収支	21億5,706万8千円	18億6,359万8千円
	資本的収支	3億462万円	8億6,427万6千円
下水道事業	収益的収支	23億7,788万7千円	20億7,687万4千円
	資本的収支	6億1,707万2千円	9億8,602万5千円

令和4年度上半期 筑紫野市の財政運営の状況をお知らせします

市では、市民の皆さんが納めた税金の使い道や、市の財政がどのようになっているかを公表しています。令和4年度の上半期(令和4年9月30日現在)の歳入歳出予算の執行状況を紹介します。

会計名	予算現額(A)	収入済額(B)	収入率(B/A×100)	支出済額(C)	執行率(C/A×100)
一般会計	361億1,479万3千円	168億9,548万8千円	46.8%	131億8,796万3千円	36.5%
国民健康保険事業	100億4,444万6千円	38億5,203万3千円	38.3%	36億4,534万1千円	36.3%
住宅新築資金等貸付事業	175万6千円	2,064万5千円	1175.7%	1千円	0.1%
奨学資金貸与事業	810万6千円	552万2千円	68.1%	308万2千円	38.0%
介護保険事業	72億28万6千円	29億7,198万5千円	41.3%	29億3,487万9千円	40.8%
後期高齢者医療事業	26億2,803万2千円	5億7,729万7千円	22.0%	11億7,279万8千円	44.6%
筑紫地区介護認定審査会事業	8,210万3千円	4,255万3千円	51.8%	2,037万9千円	24.8%
農業集落排水事業	2億881万7千円	1,458万2千円	7.0%	7,523万1千円	36.0%
二日市財産区	296万7千円	210万円	70.8%	11万7千円	3.9%
御笠財産区	353万1千円	121万7千円	34.5%	4万3千円	1.2%
平等寺山財産区	284万2千円	549万8千円	193.5%	5万円	1.7%
合計	562億9,767万9千円	243億8,892万1千円	43.3%	210億3,988万2千円	37.4%

(※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります。)

- 市民の税負担状況
令和4年9月30日現在の人口 106,256人
- 市民一人あたりの市税負担額 74,087円
(市税収入済額78億7,216万1千円に対する額)
- 財産の現在高
 - ・土地 332万5,429㎡(令和4年3月31日現在)
 - ・建物 23万9,372㎡(令和4年3月31日現在)
 - ・基金 150億9,257万7千円(令和4年9月30日現在)
- 市債及び一時借入金の現在高
 - ・一般会計 231億2,650万6千円(令和4年度末見込)
 - ・特別会計 5億8,733万1千円(令和4年度末見込)
 - ・一時借入金(全会計) 0円(令和4年9月30日現在)
- 詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。ID 3467 関 財政課 財政担当

令和3年度

決算

実施した 主な事業

問 企画政策課

政策 ① 行財政改革



▲市役所でマイナポイント申込支援を行っています

- 個人番号カード関連事務事業 54,329千円
個人番号(マイナンバー)カードの普及を進め、市民サービスの向上に努めました。
- コンビニエンスストアでの各種証明書交付事業 5,755千円
個人番号カードを利用し、住民票などの公的証明書をコンビニエンスストアで取得できるよう整備しました。
- ふるさと応援寄附金納付促進事業 146,056千円
自主財源の確保や地場企業の活性化を目的に、ふるさと応援寄附金の納付を促進しました。

政策 ② 産業・雇用をつくる

- キャッシュレス決済普及促進事業 57,339千円
市内事業者の支援とキャッシュレス決済普及促進のため、PayPay決済額の20%分のポイントが付与されるキャンペーンを行いました。
- 中小企業緊急支援事業 187,866千円
新型コロナウイルス感染症の影響により経営状況が悪化した市内の中小企業などに定額10万円の給付金を支給しました。
- 地域活性化商品券補助事業 30,000千円
筑紫野市の消費拡大、地域経済の活性化に寄与するため、筑紫野市商工会が発行するプレミアム付き商品券のプレミアム分などに対し補助を行いました。



▲PayPayのポイント付与のキャンペーンの様子

政策 ③ 生活をまもる

● 急傾斜地崩壊対策事業 210,344千円
 筑紫小学校下の急傾斜地の崩壊防止工事を実施しました。

● 危機管理事業 12,058千円
 避難所における感染症対策のため、防災用テントや簡易ベッドなどの設備を整備しました。



▲整備された防災用テント

政策 ④ 共助社会づくり

● コミュニティ運営協議会補助事業 45,786千円
 コミュニティ運営協議会の運営および活動を支援するための補助を行いました。

● ふれあいいきいきサロン補助事業 2,058千円
 高齢者や障がい者などの孤立化や引きこもりなどを予防するために、筑紫野市社会福祉協議会が実施する「ふれあいいきいきサロン活動支援」に対して補助を行いました。



▲リニューアルした広報「ちくしの」

● 広報「ちくしの」発行事業 12,816千円
 発行回数を月2回から月1回とし、全ページフルカラーにリニューアルすることで、分かりやすい広報紙の作成に努めました。

政策 ⑤ 未来をつくる

● 保育士家賃補助事業 5,202千円
 待機児童の解消に向け、市内私立保育所・認定こども園における保育士確保および離職防止を図るため、保育士に対し家賃の一部を補助しました。

● 子ども医療費支給事業 303,302千円
 子どもたちの健康増進と子育て家庭への支援の充実を図るため、令和3年度から新たに中学生の通院まで支給対象を拡大して医療費の助成を行いました。

● 小中学校トイレ改修事業 51,928千円
 小中学校の教育環境の改善を図るため、トイレの洋式化を行いました。



▲整備が進むJR二日市駅の駅西側

● JR二日市駅地区整備事業 39,308千円
 JR二日市駅の利便性向上のため、駅西側の整備を進めました。

● 筑紫駅西口土地区画整理事業 331,655千円
 筑紫駅西口周辺において暮らしやすい市街地を形成することを目的とした土地区画整理事業を進めました。